

## 学習課題(中学校1年生)

### 【理科】

#### <学習内容> 「身近な大地」

○教科書「1章 身近な大地 (P67~74)」を読んで、地球に広がる様々な地形や身近な大地はどのようにしてできたのか考え、まとめてみよう。

#### <取り組み方>

- (1) 下記①、②について、その理由について調べ、自分の言葉で説明してみよう。図を用いても構いません。
  - ①海にいた生物であるアンモナイトの化石がヒマラヤ山脈で見つかった。
  - ②ハワイ諸島は1年間で約8cmずつ日本列島に近づいている。
- (2) 「隆起」「沈降」について、どのような現象なのか図と言葉でまとめよう。また、日本や世界の中で、「隆起」「沈降」によってできた地形についてそれぞれ調べてみよう。
- (3) 教科書P69の「図3」に、「しゅう曲（宮城県牡鹿半島）」「断層（神奈川県三浦市）」「断層（千葉県南房総市）」の3種類の地形の写真を見て、それぞれの地形のでき方にどのような違いがあるだろうか。自分の言葉で説明してみよう。図を用いても構いません。
- (4) 身近なところに砂浜や川原、露頭、石垣や外壁、床などがあれば、そこにある岩石や地層を肉眼でよいので観察してみよう。

#### <学習のヒント>

- (1) 教科書P66の内容や二次元バーコードの動画を参考にしてみましょう。
  - ※ 「Google Earth」を活用して海嶺や海溝など海底の様子を確認したり、日本の露頭について検索したりし、調べてみるのもよいでしょう。
  - ※ インターネット等で「ウェゲナー」「大陸移動説」について調べてみるのもよいでしょう。大地の歴史を研究した科学者について知ることができ、地球は活きた星であることを感じられるでしょう。
- (2) 日本の沿岸部に見られる特徴的な地形について調べてみましょう。身近なところに大地の歴史を推測する手がかりが見つかるかもしれません。
- (3) いずれも大地が下記のどちらかのような大きな力を受けているという共通点があります。また、「図3」の内容や二次元バーコードの動画を参考にしてみましょう。



- (4) 教科書P72の「観察のスキル」は道具の準備や安全面の配慮が必要なので、実際には行わず、方法の確認だけで構いません。

